

#### iv. 裏高尾・小仏地区（景観誘導地区）景観計画

##### 1) 地区名称

裏高尾・小仏地区（約 66.5ha）

##### 2) 対象区域

裏高尾町を走る旧甲州街道の西浅川交差点から小仏峠入口の区間沿道で、中央自動車道と旧甲州街道、南浅川に囲まれた区域を対象とします。

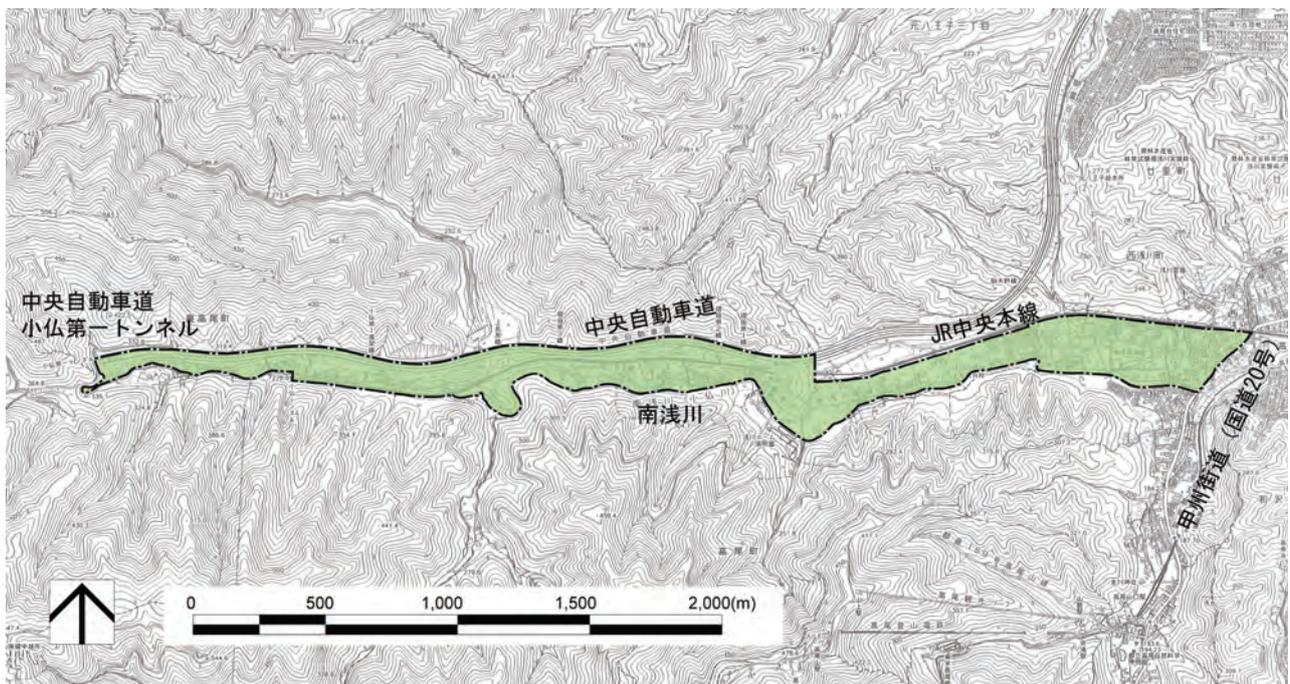


図 対象区域

### 3) 良好な景観形成に関する方針

#### ①景観形成の目標

- 山並みの緑や水辺に囲まれた旧甲州街道沿道の景観を保全し、居住者にも来訪者にも心地よいまち並み景観を形成する。

#### ②景観形成の基本方針

- 周囲の山地や水辺と調和した、緑豊かな落ち着いたあるまち並み景観を形成する。
- 豊かな自然景観を維持・保全し、潤い豊かな街路景観を形成する。
- 旧甲州街道周辺の往時の街道の面影や雰囲気大切にされた落ち着いたある景観を形成する。
- 高尾山をはじめとした周辺の山地や丘陵地への眺望を確保し、これらが映える景観の形成を図る。
- 自然や歴史文化資源を活かし、これらを回遊する快適な歩行者ネットワークの充実を図る。

#### ③景観形成の方針（法第8条第3項）

##### <共通の方針>

- 山並み・丘陵地の緑と河川の水辺が一体となった自然豊かな景観を形成する  
豊かな自然環境を保全・活用し、自然環境を身近に体感し豊かさが感じられる景観を形成する。
- 周囲の自然や歴史文化と調和した環境色彩を形成する  
自然、歴史文化と集落地の調和が感じられる落ち着いたある色彩とする。
- 景観資源を活かし、地域の個性を磨く  
地域内の巨樹や集落地の屋敷林等、地域に継承されている景観や歴史的・自然的に貴重な景観資源を活かした景観を形成する。

##### <旧甲州街道沿道の方針>

- 自然と調和した集落地景観を保全・形成する  
周囲を囲む山並みの緑と調和した景観を形成し、ふるさとも感じさせるのどかな景観を維持保全する。また、暮らしの場と歴史資源等をつなぐ歩行者ネットワークを形成し、生活の場の向上とともに、観光資源としての活用も考慮した景観を形成する。